

2018年12月18日

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

**「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」に  
渡辺直美さん(お笑い芸人)**

**「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」に  
気まぐれ八百屋 だんだんワンコインこども食堂**

**-2018 年度日本PR大賞が決定-**

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（理事長：畔柳一典）はこのほど、2018年度の「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」にお笑い芸人の渡辺直美氏を、「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」に「気まぐれ八百屋 だんだんワンコインこども食堂」をそれぞれ選出、表彰することを決定いたしました。

日本PR大賞は、広報・PRの視点から毎年もっとも活躍した人を「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」として、また地道で独創的な広報・PR活動を通じて地域社会の発展に貢献した個人または組織を「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」として表彰するもので、1998年に日本PR大賞として創設して以来、年1回の表彰を行っています。

なお、本年度の「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」両賞の選考・授賞理由は次ページのとおりです。

なお、同賞の授賞・表彰式は新年1月24日、六本木・国際文化会館で開催される「新春PRフェスタ2019」（主催：日本パブリックリレーションズ協会）において行います。

## 「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」

■受賞者 渡辺 直美氏（お笑い芸人）

### ■授賞理由

本年6月、米誌『TIME』が実施した「ネット上で最も影響力のある25人」に選出され、日本人女性の固定観念を打ち破ろうとしている姿勢が高く評価された。また芸人やデザイナーなどの多彩な顔をうまく使いながら、一貫して「ありのままの自分を前向きに捉える」ことの大切さを国内外に広く発信し、「Instagram」で800万人を超えるフォロワーを持つなど、幅広い支持と共感を得ている。これらの姿勢が、まさにPRパーソンのお手本といえる点が高く評価された。



### ■プロフィール

渡辺直美（よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属）

1987年10月23日、茨城県生まれ。2007年にデビューし、ビヨンセのモノマネで大ブレイク。

お笑い芸人として、バラエティー番組から、ラジオ、舞台など幅広く活躍。

2016年10月からNY、LA、台湾でワールドツアーを開催。

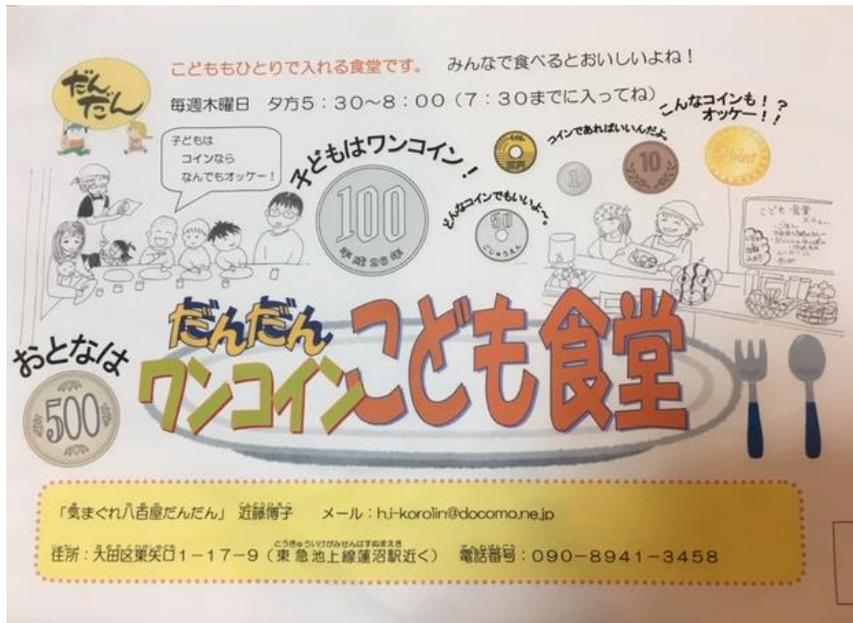
Instagramでは、フォロワー数はまもなく850万人を突破し、日本の総フォロワー獲得数において第1位を獲得。

## 「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」

■受賞者 気まぐれ八百屋 だんだんワンコイン子ども食堂

### ■授賞理由

家庭事情により、十分な食事をとることができていない子供に「温かいご飯と具沢山のお味噌汁を食べられる場所を地域で作ろう」という思いで2012年から開始した地道な取組みが、クチコミや相次ぐメディア報道のほか著名人による支援などで、全国各地で共感の輪を拡大させている。いずれも各地域住民等による民間発の自発的な取組みながら、この2年で7倍以上の2,200か所を超えて政府も積極的な意義を認めるまでに至っている社会的功績は大きい。



### ■プロフィール

2012年8月28日「子ども食堂」スタート

東京都大田区で「気まぐれ八百屋だんだん」を営む近藤博子が、ある小学校の副校長から「ひとり親家庭で、お母さんがメンタル的な病気を抱えていて、給食以外は、十分な食事がとれていない事」を聞いたことがきっかけで、「食べることなら、地域のおばちゃんにもお手伝いできる！だんだんの場所は、元居酒屋。厨房もあるし、畳の小上がりもある。みんなで温かいご飯と具だくさんの味噌汁と漬物を楽しく食べることが出来たら、明日また学校に行こう！！と元気が出るんじゃないか」と提案したら、先生からも「そんなことが出来たら嬉しいねー」と賛同してもらったことから、スタートすることになった。

第1. 第3水曜日 17時半～20時

子ども¥300 大人¥500

2014年

毎週木曜日開催に変更

2015年

第一回子ども食堂サミットに参加

2016年                   子どもは、¥100円に変更  
2017年                   だんだんワンコインこども食堂に変更  
                            (コインなら何でもいい。1円、5円、50円、100円、ゲームセ  
                            ターのコイン、外国のコインでもOK)

現在に至る

・ボランティアスタッフについて

スタート当時 4人 (調理は、主宰者の近藤。他は、パン屋の店主、有機野菜のカフェの店主、アルコール依存症の方々の自立支援の施設長、区議一年生の友人等で仕事帰りに手伝うという条件)

その後、色々と変化し、現在は、6人のスタッフと5人の高校生スタッフ

## ■日本PR大賞とは

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会が、パブリックリレーションズに対する理解促進を目的に、その基本理念であるパブリックインタレスト（公益）に貢献した人、あるいはそれぞれの分野でPRの視点から活躍した人物を毎年「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」として選考、顕彰している。また2012年度から協会が公益法人への移行を機に、従来の「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」とは別に、企業や団体が長年にわたり独創的な広報・PR活動を実践し、広く社会や地域の発展に寄与し、奨励に値する成果を収めた個人またはグループ（NPOを含む）を「PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」として顕彰している。

## ■PRパーソン・オブ・ザ・イヤー歴代受賞者（肩書は当時）

平成 29 年度（2017 年度）

加藤一三氏（棋士）

平成 28 年度（2016 年度）

小池百合子氏（東京都知事）

平成 27 年度（2015 年度）

リーチ・マイケル氏（ラグビー日本代表主将）

平成 26 年度（2014 年度）

唐池 恒二氏（九州旅客鉄道株式会社（JR九州）代表取締役会長）

平成 25 年度（2013 年度）

佐藤 真海氏（サントリーホールディングス株式会社 CSR推進部・パラリンピアン）

平成 24 年度（2012 年度）

ドナルド・キーン氏（米コロンビア大学 名誉教授）

平成 23 年度（2011 年度）

佐々木 則夫氏（サッカー日本女子代表（なでしこジャパン）監督）

平成 22 年度（2010 年度）

池上 彰氏（ジャーナリスト）

平成 21 年度 (2009 年度) (この年までは「日本 P R 大賞」)

辻井 いつ子氏 (ピアニスト 辻井 伸行氏の母親)

平成 20 年度 (2008 年度)

該当者なし

平成 19 年度 (2007 年度)

東国原 英夫氏 (宮崎県知事)

平成 18 年度 (2006 年度)

川島 隆太氏 (東北大学 加齢医学研究所教授)

平成 17 年度 (2005 年度)

野口 聡一氏 (宇宙航空研究開発機構 宇宙基幹システム本部有人宇宙技術部宇宙飛行士)

平成 16 年度 (2004 年度)

古田 敦也氏 (日本プロ野球選手会会長・ヤクルトスワローズ選手)

特別賞 故 伴 信雄氏 (日本パブリックリレーションズ協会 初代理事長)

平成 15 年度 (2003 年度)

北川 正恭氏 (早稲田大学大学院教授・21 世紀臨調代表・元三重県知事)

平成 14 年度 (2002 年度)

川淵 三郎氏 (前日本プロサッカーリーグ チェアマン)

特別賞 茂木 友三郎氏 (日本醤油協会会長、醤油 P R 協議会会長)

平成 13 年度 (2001 年度)

野口 健氏 (登山家)

平成 12 年度 (2000 年度)

柳井 正氏 (株式会社ファーストリテイリング 代表取締役社長)

平成 11 年度 (1999 年度)

乙竹 洋匡氏 (『五体不満足』の著者)

企業部門賞受賞者 カルロス・ゴーン氏 (日産自動車株式会社 COO)

文化・スポーツ部門賞 松坂 大輔氏 (プロ野球選手 (西武ライオンズ))

社会部門賞受賞者 乙竹 洋匡氏 (『五体不満足』の著者)

特別賞 福川 伸次氏 (電通総研所長)

平成 10 年度 (1998 年度)

中坊 公平氏 (弁護士・株式会社住宅金融債権管理機構 代表取締役社長)

企業部門賞受賞者 沢田 秀雄氏 (株式会社エイチ・アイ・エス 代表取締役社長・スカイマークエアラインズ株式会社 会長)

文化・スポーツ部門賞 KONISHIKI (元大関小錦・タレント)

社会部門賞受賞者 向井 千秋氏 (宇宙飛行士・医師)

特別賞 猪狩 誠也氏 (東京経済大学 教授)

■PRシチズン・オブ・ザ・イヤー歴代受賞者(肩書は当時)

平成 29 年度 (2017 年度)

特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会

平成 28 年度 (2016 年度)

くまモン (熊本県マスコットキャラクター)

平成 27 年度 (2015 年度)

いすみ鉄道株式会社

平成 26 年度 (2014 年度)

NPO法人富岡製糸場を愛する会

平成 25 年度 (2013 年度)

NPO 法人本屋大賞実行委員会

平成 24 年度 (2012 年度)

大廻 政成氏 (財団法人 丸岡町文化振興事業団 常務理事)

(公社)日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会(略称:PRSJ)は、日本PR協会(1964年結成)と日本PR業協会(1974年設立)が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者を含む約540名で組織されているパブリックリレーションズ(PR)のプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益社団法人の認定を受けました。

主な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、「PR Yearbook」「協会ニュース」「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与した人物・団体を表彰する「日本PR大賞PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じてパブリックリレーションズの普及と啓発、広報・PRスキルの向上、倫理の徹底を推進しています。

2007年からは、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・PRパーソンや、広報・PRに興味を持つ学生など、幅広い人々に「PRプランナー」などの資格を付与しています。

2009年10月には、時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」を新たに開講いたしました。

また2010年4月に「広報・PR概論(PRプランナー資格認定制度1次試験対応テキスト)」、2011年3月に「広報・PR実務(PRプランナー資格認定制度2・3次試験対応テキスト)」、2012年4月に「広報・PR資格試験問題集PRプランナー資格認定制度1次・2次・3次試験過去問題集」を出版するなど、各種の事業を通じて、広報・PRの普及と発展に寄与しています。